



# 大妻同窓会

# 埼玉だより

発行者 大妻同窓会埼玉  
代表 市原玲子

発行日 平成25年5月24日  
印刷所 仰寄居孔版社  
大里郡寄居町寄居1051



“温かな場所”

大妻同窓会埼玉代表  
市原玲子

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の初秋に大きなプランターを20箱位用意して、様々な野菜の種を蒔きました。厳冬にもめげず芽を出しジワジワと生長を続け、おひたしやおつけの実として我家の食卓で大活躍してくれました。これらの野菜が微妙な花びらの違いはありますが桜の開花と共に見事な菜の花となり種まで残してくれそうです。

昨年は、一昨年の東日本大震災に続いて、世界経済の減速や中国韓国との領土問題に端を発した外

交・経済問題等々、我が国にとっ

て困難が続きました。しかしながらロンドンオリンピック・東京スカイツリーの開業など沢山の元氣もいただきました。そして山中教授のノーベル生理学・医学賞の受賞、その研究への真摯な姿勢、お人柄、佇まいに魅了されました。IPS細胞の臨床応用が実現され難病に苦しむ人々のひとりでも多くの方々が救われる日を祈ります。近年、設立当初から入会してくださっている会員さん達の計報をご家族の方々からハガキや電話にてお受けする事が多くなりました。



ご挨拶

大妻同窓会宮城代表  
田中勢子

大妻同窓会埼玉の会員の皆様には、ご健勝にお過ごしのことと拝察申し上げます。東日本大震災の時にはお見舞いを賜り、この場をおかりして心よりお礼申し上げます。

二月下旬、市原代表よりいつもの明るい声で「埼玉だよりのご挨拶文、お願いします。」とのお電話を頂戴し、心の中では「何故私に?」と思いつながら「華の同級生だし、私のような者でも、お役に立てるなら」と思い筆を取りました。

上田高昭著「大妻コタカ」の一部に「耳マメ目マメ(聞いたこと、見たことみんな勉強だというのです。)」という言葉があります。

被災を経験し、多くの物を失いました。しかし、優しさ・たくましさと共に、本当に大切なものや本物を見抜く力を近所同士の付き合い合いの中から、同窓生の絆の中から培うことが出来、正に先生のお言葉通りでした。

自然災害国日本!いつどこで災害に遭遇してもおかしくありません

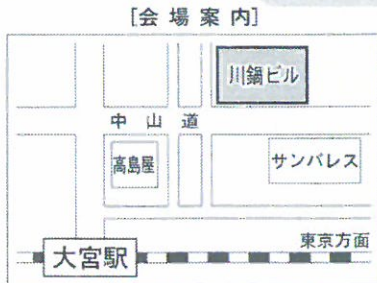
皆さん総じて「母は大妻を卒業したことを大変、誇りに思っておりました」とおっしゃっておられます。母校である大妻の同窓会が、「温かな場所」

であり続ける事が、今の会をお預かりしている私共役員それぞれの思いです。あせらず、ゆっくり確実に継承していく事が会員さんお一人おひとりの役目なのでしょうね。本年の総会は、たなびた当日です。短冊に込める気持ちを、同窓生で語り合います。

被災直後は、無我夢中の日々でしたが、二年経ち最近「心の被災者」が増えてきているように思えます。このような時こそ、気負うことなくソッと寄り添って下さる同窓生の姿は、うれしいものです。ただ、思いを聞いて下さるだけでも。またまりのない文章になつてしまいましたが大妻同窓会埼玉の益々のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

申し込みます。

## 平成25年度 大妻同窓会埼玉の総会ご案内



会場へのアクセス  
・JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線・埼京線  
「大宮駅」東口下車・徒歩5分

申込方法 同封のはがきにてお申し込み下さい。  
申込期限 六月末日

会費 六、〇〇〇円  
取り消しの場合は一週間前までに、その後は全額ご負担いただきます。

講演会 「蓮の音を聴く」  
講師 行田市蓮の大使  
人形造形作家 木暮 照子様

日時 平成二十五年七月七日(日)  
受付 十時~十時三十分  
開会 十時三十分  
会場 「川鍋ビル」8F大会議室  
〒330-1445さいたま市大宮区仲町二一六〇  
TEL 〇四八-六四一-五五二九  
(大宮駅東口下車徒歩五分)



平成24年度 大妻同窓会埼玉総会 H24. 7. 8 於 川鍋ビル

### 総会に参加して

津田 薫

梅雨晴の七月八日還暦を目前にして、初めて総会に出席致しました。志村史夫先生（応用物理学者の「寅さんとプータンの世界」と題する講演は90分という時間がとても短く感じる程皆さんがどんな話に引き込まれ笑いが起きる楽しいお話でした。寅さんの名セリ

フッおてんとう様はちゃんと見て「いる」という一節を心に留めておきたいと思いました。自身の病や家族の介護や看病、悲しいお別れなど胸をしめつけられるようなお話を伺いました。その中でも諸先輩のお元氣な姿、生きる姿勢に接し今一度我が身を律しました。

### 総会に参加して思うこと

白井 朝子

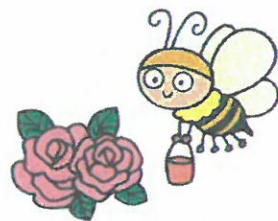
梅雨まだあけやらぬ、平成二十四年七月八日大妻同窓会埼玉総会に参加させていただき幸せに、いつも感謝の思いでいっぱいです。特に今年、私は38年勤務した学校を定年退職いたしましたので、その思いは一層強く感じています。いつも毎年この会合に参加するため、氣力を出して「私は大妻に学んだ」という誇りをしみじみ味わう一日です。

できました。広辞苑と新明解国語辞典との比較など、私たちに分かりやすく、物があることが幸せでなく、必要なものがあることが幸せというお話に38年間仕事人間の私にとって心洗われる思いでした。ITで幸せにならない寅さんとは、あの映画「男はつらいよ」の寅さんです。46本のDVDをアメリカで見ながら、一作一作をノートにまとめていった志村先生に驚くと共に、物理学者であられる先生の人間としての品格の高さ、深さに心うたれました。とかく、お金で幸せも手に入ると思われる今日この頃の人々の中で、寅さんに武士はくわねど高ようじの精神があり、プラトニッククラブの

議事の進行や講演会や音楽会など、私たち会員のために役員の方々の心配りにいつもありがとうございます。またとても楽しみにしております。今年、21世紀の幸福論「寅さんに学ぶ日本人の生き方」と題して志村史夫氏のご講演を聞くことが

マドンナの姿がとてもロマンがあると思いました。去年私はもう一度仕事をしよう、再任用を希望しましたが、三年前目の手術をしたため視力がなかなか上がりません。やむなく再任用はあきらめ、今、市民講座で加須にある平成国際大学で一年間学ぶことにしました。若い頃、大妻で学んだように自由に生き生きと無心になって学びたいです。

社会学の講義を沢山の先生方から学んでいます。第二の人生を大切に資金を得るためではなく、今度、もう一度自分の原点に戻って何が自分の幸せかを、じっくりと追求して行きたいです。「恥を知れ」との言葉は、武士道にもつながると志村先生はおっしゃっていましたが、毎年総会に参加するたびに校歌を歌い、しみじみと大妻精神の深さを学ぶ一日となりました。



「行雲流水」空ゆく雲流れる水のごとく自然の大きな動きを踏まえ悠々と楽しむ日々でありたいと思います。

# 講演会「蓮の音を聴く」

主催 大妻同窓会埼玉支部

日時 2013年7月7日(日) 11:00~12:00

演題 「蓮の音を聴く」

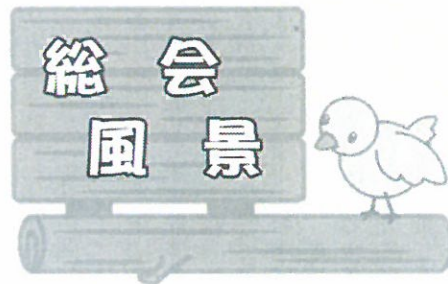
講師 行田市蓮の大使

木暮照子様



## \*講師紹介\*

昭和22年(1947)前橋市に生まれる。人形造形作家。  
 彫刻・日本画を学び、人形技法の桐塑・胡粉を村岡菊治に師事する。昭和57年行田市に転居し古代蓮に出会い、以来作品のモチーフとする。禅僧より蓮の開花音を「隻手の音声」と教えられ、音なき音「蓮の音」を制作の中心に置く。市の天然記念物を芸術に高めた功績により行田市蓮の大使を任命される。日展会友、日本新工芸家連盟会員、埼玉県展審査員、蓮文化研究会副会長として講演、出版など多数。また、「全日中展」日中友好文化大使、群馬観光特使としても活躍している。作品集「蓮の音」I II III、「蓮・心・形」、「蓮花物語」など。代表作「古代蓮物語」はオペラやバレエで演じられている。



# 大妻との出会い

根津 和子

傘寿を迎え、過ぎに日々を振り返ることが多くなりました。何度もの出会いがありました。大妻学院との半世紀を超すつながりこそ我が人生の根幹であることをしみじみ感じています。

定時制の学院高校での四年間。事務局に勤務しての十年間。同窓会に出席するようになって五十年余。

事務局での仕事が会計係だったため、中高大全ての皆さんと窓口でのお付き合い出来ましたし、各先生方とも職員同士としての交流がありました。

ですから、同窓会に出席しますと、自分の同窓、担任、学科の先生以外にも再会出来る喜びは広がっていたのです。まさに大妻はわが「ふるさと」で、実家のようなものです。

コタカ先生がバースデーで、いらっしやらない頃に生徒時代を送りましたが、職員になって「奥」と呼ばれていたお母様のお住まいにも出入りさせて頂き、温かさにこやかなお言葉を頂きました。

事務局の中の雰囲気もよく、結婚前から出産、子育ての初期にいたるまで、皆さんから家族のように接して頂き、実際には親や妹と

離ればなれに暮らしていた寂しさを感じないほどでした。

十年ほど前に夫を彼岸に見送り、同窓会埼玉支部に出席するようになりましたが、まるで開闢以来からお付き合いしていたような時間を過ごし、ここでなら自分の事でも話せると、それまで誰にも打ち明けなかった事までが自然と口に出て皆さんに聞いて頂き、すっかり解放されました。

「平家物語」の最初の出だしが好きでそらんじていますが、祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響き有り、沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす、おごれる人も久しからず、ただ春の夜の夢の如し。自分より数倍も煌びやかな人生を送っていた人が、今の私よりずっと哀れな人生を送っているのを知ったとき、この一節を思い出しています。

「おげんいかが？」



# 春 夏 秋 冬

## 「大妻と私」

落合 知恵子

大妻女子大を卒業しておよそ40年になりますが、今でもあの時の喜びがありありと浮かんできます。尊敬する大妻コタカ先生の創設された大学に入学したことは、私にとって輝かしい希望に満ちた出発でした。また夢を実現する第一歩でもありました。

入学当初は、清楚な制服に身を包んで大学へ行くことが喜びでもあり、誇りでもありました。川越から電車で池袋、新宿を経て市ヶ谷と朝のラッシュアワーの中、通学はたいへんでしたが、すばらしい先生方に教えていただき様々な発見がありました。

そのような大学時代の中で一番心に残っているのが、英詩の同好会（ミネルパソサイエティ）の文化祭での発表です。LL教室でいろいろな詩を聞いて思考錯誤の末、無数の水仙の花が風に揺らめく様子を表現している詩に惹かれ、ウイリアム・ワーズワースの水仙を発表することにしました。夏休みは清里にある大妻の山荘で合宿し集中訓練を受けました。先生には声の出し方、発音などを厳しく指導していただきました。その甲斐あって文化祭は大成功のうちに終えることができ、今でもあの感

動は忘れることができません。英詩を通して英語の音声の美しさと学習の重要性を覚えていただきました。現在子供達に英語を教えておりますので、私が学んだことを一年一回の発表会で子供達に伝えています。

それから水仙の詩について忘れられない出来事があります。八年前、家族でイギリスの湖水地方を訪れた時、ワーズワースの暮らしたダヴコテージを見学しました。何気なく入った小さな土産物屋で、美しい水仙の絵と詩を見つけました。嬉しさと驚きで思わず口ずさんでしまいました。

文化祭以来すっかり忘れかけていた詩でしたが、ワーズワースの暮らした地で再び出会えたことにひどく感動したことを覚えていま

す。私は幼児小学生中学生に英語を教えておりますが、大妻時代に学んだ多くのことが、土台となっております。現在の私があると思えます。先生方には深く感謝申し上げます。

校訓である「恥を知れ」という言葉を胸に、これからも自分自身を高めてゆく努力を続けてゆきたいと思っています。

殿村進「女の一生」

嶺雲



いぶし銀のような美しい百歳へ

そら

九十年代は愛らしく

つややかに

七十年代はしなやかに 八十年代は

六十年代は健康に

四十年代は賢く、五十年代は豊かに

二十代は美しく 三十代は強く

### 中高年の脱水予防について

私たちの体の半分以上を占める水分。血液となって全身へ栄養素や酸素を運んだり、汗となって体温調整をしたり、尿となって老廃物を排泄するなど重要な働きをしています。中高年は、水分が不足して室内でも脱水症になりやすいので要注意です。

#### 脱水症になると……

脱水症が問題なのは、脳梗塞や心筋梗塞をおこしやすい、熱中症になりやすく重症化しやすい、カゼなどの感染症をおこしやすい、せん妄（突然、意味不明なことを言ったり、大声で叫んだり、幻覚や幻聴がおこる意識障害）がおこる原因にもなるからです。

#### 家庭では次のようなことを心がけましょう

- ・ 1時間に1回コップ半分ほどの水分をとる習慣をつける。
- ・ 入浴する前後に、コップ半分ほどの水分をとる。
- ・ 夜寝る前と朝起きたときに、コップ半分～1杯の水分をとる。
- ・ エアコンがきいた部屋は乾燥しやすいので、こまめに水分をとるようにする。
- ・ 作業や運動をしたあと、飲酒後は必ず水分をとる。

#### 編集後記

今年も会員の皆様方のご協力により、大妻同窓会埼玉だよりを発行することができました。会報紙の内容につきましても、貴重なご意見をお寄せ頂き、大変ありがとうございました。総会において、多数の皆様方とお会いできることを心からお待ちしております。

いきいきと生きるための健康情報紙  
「健康と良い友だち」2012. 7月号より引用